

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 2015年度通常総会 報告

日時：2015年5月17日（日） 14時から15時まで

会場：東京都国分寺労政会館 地階 第1会議室

司会：齊藤誠一(事務局)

1 理事長挨拶

設立から8年目を迎え、新しい動きが生まれている。今日は、これまでの活動のまとめを確認し、新しい目標に向けて再出発の年にしたい。

2 総会成立（定足数）の確認

正会員総数：99（個人96名、団体3団体）

定足数（正会員総数×1÷2）：50

出席者24、委任状出席48、合計72で定足数を満たしており、総会は成立。

3 議長の選出

事務局に一任。

座間直壯氏を選出。

4 議長挨拶

配布している次第により進めていきたいので、議事進行に協力を願う。

5 書記及び議事録書名人の選出

議長の指名による。

書記：雨谷逸枝氏(事務局)

議事録署名人：堀越洋一郎氏、小池信彦氏

6 議事

(1) 第一号議案 2014年度事業報告承認について

説明（堀 渡 事務局長）

※議案書(事前に郵送配布)に沿って説明

- ・リアルな共同保存書庫の実現を目指しているが、一方でバーチャル共同保存について研究を進めることとし、(株)カーリルとの共同研究を開始した(10月29日協定締結)。多摩地域の図書館が所蔵するISBN付資料について、公開データを活用してデータベース作成を行った。現在、作成できたデータの見直しや問題点の検証、今後の活用方法等を継続研究している。この研究過程では、今年2月に経済産業省主催の「オープンデータ・ビジネス・コンペティション」に応募、最終選考にまで臨んだ。研究の詳細は、本日の総会後の報告会で聞いていただきたい。
- ・図書館資料の里親探しは、町田市の除籍資料について斡旋。32冊成立。この内、図書館学関係資料は日本図書館協会資料室に受け入れてもらった。所蔵中の全集の抜け本でも申込みいただけないことも多く、多摩地域の図書館の書庫の逼迫度を痛感した。
- ・2014年度総会記念講演を元に松岡要氏に書きおろしてもらい、ブックレット第10号として発行。「多摩デポ通信」は、第31～34号を発行。
- ・多摩デポ講座は、「多摩地域の図書館行政を担う図書館員に聞く」シリーズを2回ま

で開催。見学会1回（大宅壮一文庫）を実施した。

- ・第100回全国図書館大会の公募型分科会に「広域図書館行政と図書館再生―県立図書館を中心とした共同保存の可能性―」のテーマで企画参加した。県下の市町村立図書館との広域図書館行政について、特に共同保存の課題で実績をあげている県立図書館の事例を、全国から報告に来ていただき共有できる機会を作ることができた。
- ・移転する東京都立多摩図書館の建設が着工された。多摩の館長協議会に説明や意見交換の機会はまだないようだが、収容能力285万冊の書庫の機能に期待したい。
- ・引き続き、ホームページの刷新・充実に努めている。多摩デポMLのメンテナンスを行い、活用方法について広報した。
- ・東日本大震災被災図書館への支援については、情報収集を行ったが具体的な要請はなかった。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

（2）第二号議案 2014年度決算報告及び監査報告承認について

説明（田中ヒロ 会計）

※議案書に沿って説明

- ・雑収益の「貯藏品（切手）」は、ある団体からの寄付。
- ・今年度も、人件費の支出は行わず、毎週事務所に行く事務局員の交通費のみ支払っている。
- ・事業費の会議費は、講座および(株)カーリルとの共同研究会場費。
- ・貸借対照表に「未収金」があるが、ブックレットの代金で年度内に支払いがなされていない分である。
- ・2015年度決算から、青色申告する。収益事業の損金が翌年度に繰り越せるようになる。

監査報告（国分一也 監事）

※配布資料「監査報告書」

- ・監査の結果、適法適正に執行されていたことを報告する。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

（3）第三号議案 2015年度事業計画決定について

説明（堀 渡 事務局長）

※議案書に沿って説明

- ・(株)カーリルとの共同研究により、多摩地域の図書館全体の所蔵資料について、ISBN付きの書籍に関しては、現状の全所蔵タイトルと所蔵冊数の把握ができています。多摩地域で2冊以下という所蔵が希少なタイトルとその所蔵館についてもデータが得られた。今年度は、得られたデータを基に具体的に館長会に説明していく。
- ・図書館蔵書は常に動いている。データの更新作業や頻度についても研究する。
- ・この成果を、館長会を通じて各図書館での除籍・保存の判断に活用していただきたいが、各館の作業現場での活用がしやすい提供方法についても研究を進めていく。
- ・ISBNなし資料の判断には相変わらず横断検索作業が必要である。横断検索につい

- ては引き続き援助を請け負っていく。図書館資料の里親探し事業も継続して取り組む。
- ・今後の研究課題として、ISBNなし資料の同定についても着手していく。
 - ・大勢の参加者と「紙の本」の意味、有用性を一緒に考えていくため、「多摩デポ講座」で、100人規模の講座を計画する。
 - ・館長協議会の共同利用図書館検討プロジェクトの調査・研究に協力する。
 - ・都立図書館が、新都立多摩図書館建設を機に長期的視点に立った広域図書館行政を進めるよう要望を続ける。
 - ・多摩デポ通信は年4回発行、多摩デポブックレット第11号、2012年度通常総会パネルディスカッションを中心とした資料集を作成する。
 - ・東日本大震災の被災図書館の支援については、要請に応じて取り組んでいく。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

(4) 第四号議案 2015年度活動予算決定について

説明（田中ヒロ 会計）

※議案書に沿って説明

- ・100人規模の集会を予定しているため、諸謝金の予算を増額した。
- ・クロネコメール便の廃止のあおりで、通信費予算を増額した。

質疑

Q：経費削減の工夫として、これは会員の協力も必要なことだがホームページやメーリングリストを活用して、郵送物の量を減らす検討をしてはどうか？

A：やれることはないか検討する。

採決

拍手多数（承認）

(5) 第五号議案 任期満了に伴う役員の改選について

説明（堀 渡 事務局長）

※議案書に沿って説明

- ・理事、監事について、全員再任の提案をする。理事長・副理事長は理事の互選とする。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

7 議長及び書記の解任

8 閉会

以上